

# 鉱物資源開発の推進のための探査等事業

資源エネルギー庁資源・燃料部  
鉱物資源課

令和5年度概算要求額 **20.0 億円** ( 18.6 億円 )

### 事業の内容

#### 事業目的

国内外での自動車の電動化や省エネ・再エネ機器の普及・拡大により、その製造に必要不可欠な銅、コバルト、リチウム、レアース等の鉱物資源の需要増加が見込まれる一方、新興国の需要拡大による資源国への進出が活発化し、資源獲得競争は年々激化しています。これらの鉱物資源の大半を海外に依存する我が国にとって、供給の不確実性を低減させることが重要であるため、供給源の多角化を図り、鉱物資源の安定供給確保を図ることを目的とします。

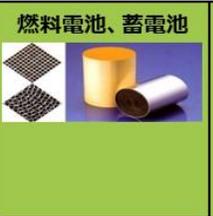
#### 事業概要

資源国における資源探査や資源国との関係強化策等を実施します。資源探査において有望な調査結果が得られた場合には、資源開発の権利等を我が国企業に引き継ぐことによって、鉱物資源の供給源の多角化を図り、安定供給を確保します。

### 事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）

国 → 委託 → 民間団体等 ↔ 共同調査実施契約等 ↔ 海外地質調査所等

**省エネ機器・再エネ機器等の製造に不可欠な鉱物資源**

 コバルト、ニッケル、リチウム	 白金、鉛	 レアース、銅
---	---	---

### 成果目標

鉱物資源（ベースメタル）の自給率（金属需要に占める自主開発鉱石とリサイクル原料の割合。平成30年度は50%）を令和12年度までに80%以上に引き上げるとともに、令和32年度までに国内需要量相当を確保することを目指します。